

日吉台学区自治連合会  
会長 野々口 義信

◎市と市教委に日吉台幼稚園の認定こども園への転換に関する要望書提出について

統合されるよりも  
こども園で幼児教育施設の存続を

平成28(2016)年12月1日

市立日吉台幼稚園の統合問題で、日吉台学区内で幼児教育施設の存続を求め運動を進めていた「学区まちづくり協議会の子育て応援隊」は、これまでの運動の方針を一部転換、保育園機能を備えた認定こども園設置に焦点を絞り、運動を展開することを決めた。この決定を受け、同まちづく

り協議会は、11月開催の学区自治連役員会に新たな方針案を説明、学区自治連役員会は学区自治連名で市と市教委に対し認定こども園設置を求める要望書を提出することを承認した。

市教委が、市立幼稚園のあり方検討で、中北地区内にある幼稚園の統合も含めた再編計画を打ち出したことで、危機感を持った学区自治連と同まちづくり協議会は、平成26年春、「幼児施設の日吉台への存続」を求め、市議会に請願を行うなど運動を始めた。ところが市教委は、今年度になつて新たに公立幼稚園の3年保育実施と引きかえに、基準の園児数に達しない幼稚園については、さら

市の幼稚園再編計画受け

認定こども園誘致へ!

学区自治連方針

力さ統幼動ま区備点、別しん解要  
協。のに活区学を焦り、ましん理の  
ごす園内な学、能けなしなりなごて  
にま稚区ま、け機向にとにのみにて  
動い幼学ま、11月を育園にとにさら  
活ざ台、まの言保置こくこの市長  
連ご吉来さの言保置こくこの市長  
治う日以、この提「保育」設置こ  
自とは、し向たがの提「保育」設置こ  
区がは、し向たがの提「保育」設置こ  
学りで上にし協議会でも、園」設置こ  
、あ連浮続ま協例こども津市提出問の活動に  
ろ、き治が存きり認定運動、大を提園連のため  
ひごだ自設てく連認、中望稚園自治だく添  
いた、問施しづ治たを絞、紙の学区自ただく添  
いて、合児をち自治たを絞、紙の学区自ただく添

以上

に踏み込んで期限を切つて統廃合する方針を公表、日吉台幼稚園の将来の園児数の推移からみて統廃合は避けられない状況になつてきた。  
日吉台学区での幼児施設の存続が危うくなつたうえ、日吉台に近い坂本地区で、三重県名張市の法人による保育園設置計画が明らかになり、日吉台幼稚園の存続はますます厳しい状況となり、まちづくり協では、協議を重ね保育園機能を備えた認定こども園設置要望に焦点を絞った運動に切り換えが得策と判断した。

大津市長 越 直美様

平成 28 年 12 月 日

### 日吉台幼稚園の認定こども園への転換に関する要望書

日吉台学区自治連合会

会長 野々口 義信

これまで日吉台学区自治連合会は、平成 26 年春の「幼児教育施設の存続と認定こども園への転換を求める請願書」のための署名活動以来、日吉台学区における幼児教育施設（現日吉台幼稚園）の存続とともに、「滋賀県いち子育てしやすいまち」を目指すべく、下部組織である日吉台まちづくり協議会とともに、平成 27 年春に開始した日吉台幼稚園におけるママ預かり活動「アソビバ」をはじめ、県社協と共同の「冒険アソビバ」、さらに今年度からは「こども食堂」など、多種多彩な子育て支援の活動に取り組んでまいりました。また、上記請願書の天津市への提出後も、学区内の子育て世帯の親たちと定期的に会合を開き、日吉台幼稚園が直面する課題について議論を重ね、天津市に対して公立幼稚園における三年保育の実施と預かり保育の充実をお願いしてまいりました。そして、昨年には市長みずから日吉台にお越しいただき、日吉台幼稚園における三年保育の実施を約束していただきました。

しかしながら今夏、天津市ならびに天津市教育委員会は、公立幼稚園における三年保育の実施と引き替えに、園児数 20 名以下の状況が三年間継続した幼稚園を統廃合する方針を発表いたしました。現在の日吉台の人口動態を考慮すれば、市の提示する条件では日吉台幼稚園の閉園が避けられない状況であることは明らかです。くわえて、坂本学区の日吉台に近い場所に、あらたに私立保育園の開設が計画されており、今後の日吉台幼稚園の存続はますます厳しいと言わざるをえない状況です。

日吉台学区自治連合会では、これまで日吉台幼稚園の維持・存続に向けて精力的に活動してまいりましたが、もはや公立幼稚園の枠組みでは統廃合が避けられない見通しになった以上、このたび日吉台幼稚園を（保育園機能をそなえた）認定こども園へと転換することにより、日吉台に幼児教育施設を維持していただくよう、あらためて市長に要望させていただく次第です。

この件につきまして、ご検討のほどよろしくご願い申し上げます。

以上